

平成20年度 飯野幼稚園 経営計画

1 前年度における園経営の反省と地域・園児の実態

- 前年度は、「元気な心と体」を育てようと研究を進めてきたが、保護者やその家族、地域の方々
と手を結んだ取り組みが重要であることがわかった。
- 5歳児は38名中31名が進級児で、新入园児は7名である。4歳児は、35名中29名が
初めての集団生活で、6名は保育経験がある。幼児の生活する環境は、安全の問題からも戸外
での遊びや自然とのかかわりの中での直接体験が少ない傾向が見られる。
また、保護者においては、昨年度は、わくわく畑を中心とした栽培活動や園開放に、ボラン
ティアとして参加したり、園行事に参加したりすることで、保護者同士のつながりが深まった。
- 保護者ボランティアや地域の指導員と共に、自然との直接体験「わくわく畑」の活動を通し
て、幼児の見せる言動や表情を受け止め、教師の援助を検討し、今年度も研究主題に迫りたい。

2 園教育目標

- 健康で安全な生活ができる子
- 自分の思いや考えが出せる子
- 友達の思いに気付き、受け止め動いていく子
- 身近なものに興味や関心をもち、意欲的に取り組む子

3 園経営方針

- 充実して遊べる環境を整備し、安全管理に努める。
- 幼児の実態を把握し、発達の見通しをもった教育課程を編成し、実践・評価に努める。
- 特色ある園づくり・地域に開かれた園づくりに努める。
 - ・ 栽培活動(わくわく畑) ・栽培やクッキング活動でのボランティアの人との触れ合い
 - ・ 未就園児の会(ひよこの会) ・保幼小中連携

4 本年度の努力目標と達成方策

- 幼児理解や保育内容・指導の充実に努める。
- 幼児の主体的活動が十分に確保できるような環境構成の工夫と整備、活動へのかかわりな
ど、教師の援助に努める。
- 様々な自然体験や人とのかかわりを通して心情を豊かにし、共に育ち合っているように努
める。
- 家庭や地域と相互理解を深めるため、ふれ合いや話し合いの機会をもち連携に努める。
- 幼稚園と小・中学校との指導の流れが一貫したものとなるような交流と連携に努める。
- 未就園児やその保護者への園開放を進め、共に子育てをしていく者として支援し取り組むよ
うに努める。